

みたけ夢だより



6月号

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

横浜市立みたけ台小学校



祝50周年！みたけくん 誕生

校長 谷口 佐智子

朝会で、「50thみたけくん」を子どもたちに紹介しました。その後、子どもたちは、早速、みたけくんを見つけて、「かわいいな。」「よろしくね。」と言いながら、みたけくんの頭をなでていました。本校のみたけっ子たちは素直でとてもやさしいです。きっと、みたけくんも喜んでます。



50周年行事が進んでいます。5月15日には、航空写真撮影がありました。全校の子どもたちが、暑い中、カラーエプロンみたいなものを持って校庭に「50thみたけくん」の絵をつくりました。セスナ機が飛んできて、旋回しながら6回くらい撮影をしていました。最後には、セスナ機が手をふってくれて、子どもたちも手をふっていて、1年生のくじらぐものお話のような、ほのぼのする光景でした。ひとつのことにみんなで力を合わせることは、素敵だなと改めて思いました。

6月に入ってからも、50周年委員会（児童会）による集会があったり、50周年記念授業（おやじの会）があったりします。考えただけでもわくわくします。

今年度、委員会活動では、特別に「50周年委員会」が設置されました。みたけくんの誕生日会を企画してくれるようです。集会では、50周年にちなんで「50回チャレンジ」の提案もするそうです。

おやじの会については、本校30周年の頃に発足したと伺っています。昨年、惜しまれながら活動休止となりましたが、学校からお願いをすると、みたけっ子のために、お餅つき大会などを引き受けてくださっています。学校にとって、とても頼もしい存在です。この度は、キャリア教育として仕事に関わる授業を行っていただきます。

また、学校にかかわってくださっている方々を招待し、感謝の気持ちを伝える「ふれあい給食」を企画中です。コロナ禍後、教室内で会食をする機会がありませんでした。長い時間とは恐ろしいもので、マスクが外せなくなっていたり、人と話しながら食べることに嫌悪感をもつ子がいたりします。少しずつ会食に慣れる意味もあり、月に一回ある「カレーの日」を会食の日にし、机を向かい合わせにして給食を食べてみることにしました。勿論、アレルギー対応や支援の必要なお子さんへの対応は行っていきます。

さらに、保護者の方に向けて、「50周年記念給食体験会」を行います。人数に制限はありますが、興味のある方はぜひ応募してください。

「つないで 広がる みたけのわ」の50周年のスローガンのもと、みたけっ子の頑張っている姿をまちへ広げ、まちの方々と共に学校の歴史を繋げていきたいと思っています。

引き続き、あたたかいご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

